

授業科目	看護学概論	単位数	1 単位	講師名	看護教員
		時間数	30 時間		
学年	1 学年	履修期	前期		
授業の目標	1. 看護の概念、機能・役割を理解し、看護の歴史上から今後の課題を考える 2. 人間とは、生活とは、健康とは、健康障害とは何かを理解する				
授業内容 (授業計画)	1. 看護の本質 1) 看護の定義 2) 役割と機能 3) 職業としての看護 4) 学問としての看護（主要な看護理論） 5) 看護の変遷 2. 看護の対象としての人間 1) 全体としての人間 2) 成長発達する存在 3) ライフサイクルと発達課題 4) ニーズをもつ存在 5) 生活者としての存在 6) 適応する存在 7) 社会文化的存在 3. 人間と健康 1) 健康のとらえ方 2) 健康の諸相 3) 健康への影響要因 4) 生活習慣とセルフケア 5) QOL				
評価方法	1. 筆記試験（70%） 2. 課題レポート・発表（30%）				
注意事項	看護を学ぶにあたっての基盤となる講義である。看護とは何かを学び、看護実践者に求められるものは何かを考え、今後学習する看護学全体における動機づけを図ることを目的とする。自ら文献を探し、調べ、思考し、主体的に学習していくことを重視していく。				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 I〔1〕看護学概論（医学書院） 2. フローレンス・ナイチンゲール 看護覚え書（現代社） 3. ヴァージニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの（日本看護協会出版会） 4. 実践に生かす看護理論 19（医学芸術社） 5. 国民衛生の動向・厚生指の指標（一般財団法人 厚生労働統計協会）				
参考図書	必要時、講義の中で説明する				